

総合的な学習の時間におけるインターネット活用実践の試み

—— 一人一人の能力に応じた情報教育実践を通して ——

足利市立愛宕台中学校 野 田 潔

1. はじめに

平成10年11月に文部省は、2002年から実施される「新学習指導要領」を発表した。その中に、総合的な学習の時間が、新設された。インターネットで「総合的な学習の時間」について、検索した。その中に、2教科以上の、合科による実践例があった。(香川大学教育学部 附属坂出中学校) 愛宕台中でも、次年度に向けて、「総合的な学習の時間」の研究を、教務主任を中心に開始した。

平成10年度、初めて免外美術を担当した。「美術と技術・家庭科」の、合科による実践。学校行事、文化祭、修学旅行、林間学校、学年行事(クラスマッチ、サツマイモ栽培、収穫、焼き芋等)、生徒会活動、部活動、等の行事を、情報基礎、選択技術、特別活動等で、生徒にHTMLファイル化させる。HTMLファイルで教材を自作する。前記のような実践を行いながら、「総合的な学習の時間」において、どのようにインターネットを学校教育で活用したら効果が上がるか研究してみようと思ひ、テーマを決めた。

2. インターネット、HTML言語との出会い

平成9年の夏休みに、足利市教育委員会主催の研修会に参加して、インターネット、HTML言語に初めて触れた。雑誌の付録の、インターネットの疑似体験ができるCDROMを通して体験してはいたが、直接、インターネットにアクセスしたのは、この研修会が初めてだった。学校教育におけるインターネットの利用方法の研究をこの研究会に参加後開始する。

この時、サーチエンジンを使い、教育風土体験研修の時訪問した仙台市教育センターのHPにアクセスを試みたが、探し出せなかった。仙台市教育センターでは、仙台市の先生方の自作した教材をHPに公開する計画があると、聞いたからである。「仙台市」と入力し、検索したが、その時は見つからなかった。が、この時、研修校として第一希望の仙台市立第一中学校のHPが、検索結果一覧の中にあっただけで、アクセスした。このHPにも、仙台市立第一中学校の先生方が自作した教材が公開されていた。仙台市は、足利市の小学校に導入されている機種と同じ、FM-TOWNSを導入しているのだから、教育風土体験研修の候補地として選択した。

H9年の8月に中学校に導入された機種はFMV-TOWNSなので、FM-TOWNS用に開発されたこの教材は、足利市内の小中学校で利用可能である。

教育風土体験研修で訪問した仙台市立五城中学校でお世話になった先生方とは、今でも交流が続いている。特に、その時の五城中学校研究主任のK先生は、メールアドレスをもっているのだから、今後もEメールで交流をつづけ、K先生の勤務校にホームページが開設されたら、さらに、情報交換を密にしていきたい。

3. 実践記録

コンピュータ更新

H9年8月中学校に新しいコンピュータが導入される。

職員室にサーバが設置され、ISDN、1回線、プロキシサーバ(LAN)経由で、コンピュータ室の21台のクライアントが、インターネット接続可能となる。

その結果、コンピュータ室には、FMV-TOWNS21台、FMR-50S21台、合計42台のコンピュータが、利用可能となった。

現職教育に向けて、指導案と、教材製作開始

キューブペイントでGIFファイルを作り、ホームページ作成用ソフトホタルで、キャビネット図と等角図の作図方法を説明したHTMLファイルを作る。(以前、FMR-50S用に、コースウェアプロセッサを使って自作した教材を参考に、キューブペイントとホタルのマニュアルを読みながら、HTMLファイルを作成した。)この教材を校内のサーバに、共有フォルダを作り、そこに保存した。ブラウザ(MSIEの3)でアクセスさせながら、作図させた。

授業の前にWindows95の基本操作、起動、終了、マウスの使い方、ブラウザ(MSIEの3)の基本操作、教材ファイルの保存してある場所と、その呼び出し方、等を指導

H9年度 現職教育

期 日 平成9年11月26日(木) 技術・家庭科

学校課題 「生徒が信頼し、生徒と語り合える教師」

—個性の重視と、好ましい人間関係の構築を目指して—

研究授業 1年1組 技術・家庭科 授業者 野田 潔 教諭

ねらい授業を通して、新学力観に基づく指導の充実を図り、学校課題の具現化に迫る。

主体的な学習 自ら学びとる学習の意欲を喚起させ、学習の成立を図る

校内だけでなく、市内の小中学校に案内を出し公開する。

久野小学校の現在愛宕台中学校2年生の小学校の時の担任のF先生が、研究授業を参観に来てくださる。

授業終了後F先生より授業の感想とお礼のEメールが届く

H9年12月愛宕台中学校、ホームページ開設

現職教育で使用したキャビネット図と等角図の作図方法を説明したHTMLファイル公開

H10年(H9年度)3学期 授業参観

サーチエンジン、Yahoo、GOO等で「クーリングオフ」を、検索させる。

GOOで検索した生徒が、国民生活センターの中に、中学生にも、分かりやすく解説したページを見つける。他の生徒にも、紹介し、URLを入力させて、そのページにアクセスさせる。

授業終了後、『「クーリングオフのページ」に、リンクを貼らせてほしい。』という、お願いの、Eメールを出す。後日、国民生活センターより、『「クーリングオフのページ」は、法律が改正され、現行の法律に合っていないため、国民生活センターホームページからの、リンクをはずしてあるので、リンクを貼らないでほしい。リンクを貼る場合は、トップページが望ましいが、中学校のHPという点を考慮すると、生活絵本のページが、中学生にも理解しやすくなっているの、そちらにお願いしたい。また、リンクを貼る場合は、国民生活センターホームページであることを、表示することがリンクの条件である。』という内容のことが、書いてあった。また、『中学校の授業で、利用したことに対するお礼と、国民生活センターホームページは、授業等で、このように活用してもらって担当者として、嬉しい。』と、いう内容の文章が、メールの最初に添えられていた。

H10年2月に、愛宕台中のリンク集に、国民生活センターホームページと、生活絵本のページと、クレジットカードのページにリンクを貼った。このリンクは主に、技術・家庭科の「家庭生活」の授業で、利用している。

上記、3カ所に、「国民生活センターのページ」と、ただし書きをして、リンクを貼ったことを、Eメールで連絡した。

その後、国民生活センターホームページが更新したため、現在は、トップページのみのリンクになっている。「クーリングオフ」のページが更新されたら、そのページに、リンクを貼って、授業で、生徒に活用させる予定である。

それ以外の、リンクのお願いのEメールは、「リンクを貼らないでほしい。」という、返信は、来なかった。

美術の時間における実践

H10年4月、校長より、「H10年度は、免外で「美術」を、担当してほしい。」と、頼まれる。初めて、美術を担当することになり、美術の教材研究を始める。美術の教材に、コンピュータグラフィックスがあったので、その、指導方法の教材研究を開始する。

足利市立第三中学校のK先生が、美術の授業で、コンピュータグラフィックスを教えているということを知り、春休み中に三中に行き、K先生の指導方法、取り扱っている教材、使用ソフト、生徒作品等を教えてもらう。使用ソフト：スーパーキッド。一、三年で、生徒に指導している教材及び、生徒作品を見せてもらった。後日、フロッピーで、三中の作品を、愛宕台中に送ってもらった。そのファイルの一部を校内のサーバに保存し、サーバ内のファイルをコンピュータ室のクライアントからアクセスできるようにHTMLファイルを作った。

美術の授業の時、生徒に自分のCG作品を制作する前に、サーバ内のファイルにアクセスさせて、自分の作品制作の参考にさせた。

サーチエンジン、Yahoo、GOO等で、生徒のCG制作指導の参考になりそうな作品を探す。

いろいろなHPを探した結果、東京都江戸川区立葛西第二中学校、静岡県小笠郡菊川町立菊川東中学校、石川県立小松明峰高等学校、宮崎県立延岡商業高等学校のHPにあるCG作品が、美術の時間に生徒にアクセスさせるのに適していると判断した。その他にも、生徒の喜びそうな、アニメのキャラクターのCG作品等のあるHPもあった。しかし、「美術の授業で生徒にアクセスさせる。」ということを見ると、上記の4校が適していると判断した。

Eメールで、HPとCG作品のあるページの2カ所に、リンクを貼ることを、お願いした。

現在、愛宕台中学校のリンク集にある4校の「生徒CG作品のあるホームページ」は、上記のような視点で探した。校内のサーバにある、「足利市立第三中学校の生徒CG作品」と、リンク集のCG作品を、美術の時間に、生徒に制作させる前に、自由にアクセスさせ、自分のCG作品制作の参考にさせた。

東京都江戸川区立葛西第二中学校は学校の公式のHPでなく、美術の先生が自分の指導した生徒の作品を、個人で運営するHPに公開したものである。そのページに、シンメトリーなCG作品のコーナーがあった。そこで公開されている作品は、タウンズペイントで制作させたそうである。ここに公開されているCG作品を見て、愛宕台中の生徒に、シンメトリーなCG作品を制作させようと、考えた。

生徒に制作させる前に、試作品をキューブペイントで制作した。試作したCG作品はGIFファイルで保存し、その手順をHTMLファイルで作り、校内のサーバに保存した。その結果、美術の授業の時、生徒は、その校内のサーバ内のファイルにアクセスし、制作手順を確認しながら、自分のシンメトリーなCGの制作を進めることができた。このファイルは、愛宕台中のHPに、公開してある。

美術と技術・家庭科の時間の実践

2、3年生は、美術の授業が週1時間しかないので、コンピュータの基本操作は、技術の時間に指導した。美術の時間は、主に、シンメトリーなCGの制作作業をさせた。

----- 技術の時間に指導したコンピュータの基本操作 -----

Windows95の基本操作、起動方法、終了操作、マウスの基本操作（マウスの持ち方、左ボタン、右ボタン、ポイント、クリック、ダブルクリック、ドラッグ他）、ファイルの保存方法、保存したファイルの呼び出し、アプリケーションの起動、インターネットエクスプローラの基本操作（希望するページのアクセス方法、校内サーバの共有フォルダ内のファイルにアクセスする方法等）、閉じるボタン、最大化ボタン、元のサイズに戻すボタン、最小化ボタン、複数の窓の使用法（インターネットエクスプローラでサーバ内のファイルにアクセスしながら、キューブペイントでCGを制作する等）、cube for Windowsの基本操作（キューブペイントのシンメトリーなCGの制作作業に必要な基本操作 等）

コンピュータの基本操作を、学習した後、サーバ内の「足利市立第三中学校の生徒CG作品」と、リンク集にCG作品のあるページに、直接リンクを貼ったページに自由にアクセスさせた。これから、自分の制作するCG作品の、参考にさせた。

平成10年10月24日～25日に行われた愛宕台中の文化祭の時、2、3年生全員の作品を校内のサーバに保存し、生徒氏名をクリックすると作品を表示するHTMLファイルを作り、コンピュータ室からアクセスできるようにして、文化祭に来た人に見てもらった。と、同時に、CG作品をプリントアウトして、黒、青、緑の3色の台紙を用意し、制作した生徒に自分で選んだ色の台紙に貼らせ、美術室に、その他の作品と一緒に展示した。

コンピュータ室で、生徒作品を説明していると、「愛宕台中のHPを見たことがあります。」と、言ってくれる人もいた。前期部長が当番（コンピュータ室に来た人に説明する当番）の時、HPに公開してある「ダジャレコーナー」を更新している所を紹介したら、「足利市の地名を使った場合、そのことを説明した方が分かりやすい。」と、アドバイスをしてくれる人もいた。その、アドバイスを聞いて、前期部長は、そのことを書き込んだ。

また、ある人からは「家にあるコンピュータに、ワード、エクセルがインストールされているが、学校ではどんなソフトを使っているか?」と、質問された。「学校には、cube for Windowsがインストールされており、ワープロ、表計算、図形処理、データベースの、基本的な事を学習することができるようになっている。校内のサーバに保存してある生徒のCG作品も、キューブペイントで制作した。」と、説明した。

色々な機種を使ったことがある人が、「Windows95は、よくフリーズする。Windows98になっても、その点は、あまり変わっていない。私は、マッキントッシュをよく使うが、マックの場合、フリーズしても、システム領域と、データ領域が分かれているので、システムが具合悪くなくても、データには影響が無いので、安心してコンピュータで仕事ができる。」と、言っていた。学校で授業中に生徒の使っていたコンピュータがフリーズすることがある。たいてい、CTRL + Alt + DELで作業を続ける事ができるようにすることが、可能であるが、リセットされてしまうこともある。その場合、それまで授業で入力したデータが消えてしまい、生徒はがっかりしている。その人の話によると、マックでは、そのような事がほとんど、無いそうである。

「愛宕台中の2、3年生全員のCG作品を校内のサーバに保存し、文化祭で公開している。」と、説明したところ、「1年生の作品は無いのですか?」と、言われた。そこで、技術・家庭科の教室に展示してある、1年生全員のマガジンラックをビデオカメラで撮影し、その映像をビデオキャプチャーボードでコンピュータに取り込み、後日、愛宕台中のHPで公開することを、約束した。

10月24日、25日に愛宕台中で行われた文化祭で校内のサーバで公開したファイルを、HPに公開する作業を始める。学校長と教育委員会の前川先生と相談して、制作した生徒氏名のフルネームでなく、作品と名字のみを公開することにした。生徒が美術の時間に制作した作品、「シンメトリーなコンピュータグラフィックス」を10月29日に、愛宕台中のHPに公開した。

<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/atagodai/CG98/Cg98.htm>

H10. 11. 15(日)

愛宕台中のHPに公開した生徒のCG作品に対する、生徒宛のメールが届く。

良い作品を制作した生徒に対するコメントの後に次のアドバイスをもらった。

他にもすばらしい作品が多くあるのですが、最初に印象に残った作品をあげてみました。まず授業に熱心に取り組んでいること、個性を生かした作品作りを行っていることがどの作品からもうかがえます。特に美術科では「best of all」ではなく「only of all」をねらいとしているのです。(いろいろなことがそうですよ)自信をもって自分の作品作りに取り組み、楽しんでください。

最後にアドバイスをひとつ。この授業では人間や動物の顔がそうであるような「シンメトリー」-左右対称という基本的な構成要素を学習しているのですが、さらに植物や宇宙の星々など広く目を向けてみてください。

そうするとだんだんと枝分かれしていく樹木の構成の不思議さ、植物のつるや銀河の渦巻きの構造や、ほかにも自然の不思議な造形に驚くことがあるでしょう。これから機会があったらそれらを生かして制作に取り組んでみましょう。

みなさんの作品と出会えたことが私にとってもおおきなプラスになりました。これからも野田先生のご指導のもといろいろなことに取り組んでみましょう。ありがとうございました。

宇都宮大学教育学部研究生 日下田 英彦 E-mail higesan@olive.ocn.ne.jp

日下田先生と連絡を取る。先生から送っていただいたEメールを原文のまま、ホームページに公開する事、Eメールの一部に手を加えたものも公開する(どの作品に対するコメントが分かるように手を加える)こと了解してもらった。

生徒に原文のままのEメールと、一部に手を加えたEメールを見せる。このEメールは、日下田先生の了解が得られたので、愛宕台中のHPに公開し、校内のサーバにも保存した。

H10. 11. 16(月)

1年生、全員のマガジンラックのJPGファイルをインターネットのHPに、公開。

久野小のF先生と、筑波小のY先生に次のEメールを送る。

F先生とY先生に送ったメール

愛宕台中学校のホームページ(ウェブページ)に10月24日、25日文化祭で校内のサーバーで公開した、生徒が美術の時間に制作した作品、

「シンメトリーなコンピュータグラフィックス」を10月29日より公開しました。

<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/atagodai/CG98/Cg98.htm>

学校長と教育委員会の前川先生と相談して、制作した生徒氏名のフルネームでなく、作品と名字のみの公開です。

また、10月31日に2年生の林間学校で撮ったホテル前と蓮池前の集合写真も公開しました。

<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/atagodai/H10rinkan/rinkan.htm>

今後、授業等で生徒の作ったデータ等も公開していく予定です。

愛宕台中のホームページのURL、Eメールアドレスは、下記の通りです。

URL <http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/atagodai/>

E-mail atagodai@city.ashikaga.tochigi.jp

指導者 野田 潔 へのアドバイス 生徒への感想等をメールで、お願いします。

例 2213 寺崎君の作品の、寺崎君宛の感想をお願いできれば幸いです。

3250 山根さんは、同じ形で3種類の作品を完成させました。

他の生徒も、現在山根さんの作品を参考に制作中です。

生徒が校歌のMIDIファイルを作りました。'98. 10. 09公開

愛宕台中学校のメニューページ→学校紹介→校歌紹介

<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/atagodai/kouka.htm>

1年全員のマガジンラック公開 '98. 11. 16

愛宕台中学校のメニューページ→生徒作品→平成10年度マガジンラック

<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/atagodai/gisakuhin/magasyo.htm>

コンピュータ部のページ更新 '98. 11. 15 (生徒の作ったMIDIファイル)

愛宕台中学校のメニューページ→部活動→コンピュータ部(もののけ姫)→部員の紹介→坂田君の自己紹介

今後、授業で生徒の作ったページや MIDI ファイルを公開する予定です。

2101 青山 ****
2102 石塚 ****
2104 柿沼 ****
2105 金井 ****
2106 木村 ****
2107 菅井 ****

.
. .
. . .

3248 森田 ****
3249 谷津 ****
3250 山根 ****
3251 山根 ****
3252 吉江 ****

F 先生と Y 先生には **** は実名でメールを送った。

H10. 11. 26 (休)

小学校5, 6年で現在の愛宕台中2年の担任だった久野小のF先生よりEメールが届く。久野小の時の担任の生徒だけでなく、2年生全員にコメントを書いてくれた。

F先生のEメール

みなさんの力作を全部見せていただきました。私なりに感じたことを素直に書かせていただきます。長文のメールで申し訳ありませんが…

2年生のみなさんへ

素敵なおCGを見せていただきました。さぞかし、時間をかけたことでしょうね。パソコンは、人間の力を何倍にも引き出してくれる機械です。しかし、アイデアは、人間にしか思い浮かべることができません。これから、アイデアを生かして素晴らしい作品を描いてくださいね。それから、来年の4月に久野小から、21人が愛宕台中へ入学します。よろしくめんどろをみてくださいね。それでは！

PS: 素晴らしい作品を送っていただいたお礼に、一曲プレゼントします。

「Kanon」といいます。もしかしたら、何人かの人が覚えているかも…?(^o^) v

I am T F !

(^。^) y-。oO

E-mail spring@sunfield. ne. jp

ICQ # 9374573 Yahoo pager # spring_98

http://www. sunfield. ne. jp/~spring

H10. 11. 27 (金)

F先生に用事があったので、久野小にいきメールのお礼を言った。

メールをホームページに載せる(全文をそのまま載せることと、一部手を加える)ことの詳細を得た。(後日、日下田先生のメールと同じように加工し公開予定。)

この、メールは印刷して、愛宕台中の教職員に回覧し、2年生に配布した。また、2学期に行われた第2学年部会の時にも、生徒の活動の様子や、文化祭の時の様子を話し、印刷して保護者にも配布した。

文化祭後の2年生のCG指導実践

美術 週1時間

技術・家庭 週2時間（男女共修）

文化祭後の最初の美術の授業で、友達作品を鑑賞させる。

3250 Yさんの作品を参考に、11月中に2作目、3作目の制作に挑戦させる。

技術の時間に、ワープロ練習をかねて、自分の作品の題名、自分の作品に対するコメントを、キューブワードで書かせる。

日下田先生よりメールが届く。

日下田先生と連絡を取る。先生から送っていただいたEメールを原文のまま、ホームページに公開する事、Eメールの一部に手を加えたものも公開する（どの作品に対するコメントか分かるように手を加える）ことの下解してもらった。

生徒に原文のままのEメールと、一部に手を加えたEメールを見せる。

日下田先生のメールを参考に、友達作品のコメントをキューブワードで書く。

「作品の題名があったほうがよい。」というメールをもらう。

メールを紹介し、自分の作品の題名とコメントも書くことを付け足し、作業を続けさせる。

美術の時間

文化祭前に制作したCG作品以外に、最低2作以上制作させる。CG作品は2学期中に制作を終了し、技術の時間に製作した「センサー付き時計」の外の木の部分に彫刻する、アイデアスケッチに取りかかっている。（技術の時間に製作し、文化祭で技術家庭科のコーナーに展示。3学期の美術の時間に彫刻し、完成したらHPに公開予定。）

技術の時間

3学期の技術の時間に、美術の時間に制作した自分のCG作品のコメントと、最低5人の友達の文化祭の時公開したCG作品にキューブワードでコメントを書く。完成したら、HPに公開する予定である。

文化祭後の3年生のCG指導実践

美術 週1時間

技術 男子 週3時間

女子 文化祭後 週1時間

美術の授業

文化祭後の最初の美術の授業で、友達作品を鑑賞させる。

自分の作品の題名、コメント、友達作品に対するコメントをキューブワードで書かせる。

日下田先生よりメールが届く。

生徒に原文のままのEメールと、一部に手を加えたEメールを見せる。

日下田先生のメールを参考に、友達作品のコメントをキューブワードで書く。

「作品の題名があったほうがよい。」というメールをもらう。

メールを紹介し、作業を続けさせる。

5人以上、友達作品にコメントを書けた生徒は、2作目の制作に取りかからせる。

2作目は、最初に題名、テーマを考えさせて、そのテーマに合うようなコンピュータグラフィックスを制作させる。完成したら、HPに公開する予定である。

男子 情報基礎

CG作品を自由に(美術の時間のようにシンメトリーという指定なしに)キューブペイントで制作し、キューブワードでタイトルを作り、背景色を自分で指定し、HTMLファイルにする。

情報基礎時間に制作した男子全員のCG作品をH10年12月18日に、HPに公開。

<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/atagodai/H10g3nen/Index.htm>

キューブワードで、B5縦に中学校生活の中から、修学旅行、合唱コンクール、体験入学、文化祭、生徒会活動、部活動、等の文章をかき、その文章の中に、キューブペイントで作ったCGをコピーして印刷し、文集を作らせる。

前期生徒会長が12月22日に、いじめ0生活と僕らの6生活宣言のページを完成させる。

12月24日の朝、学校長に生徒の作ったページを見てもらってから、愛宕台中のHPに公開する。

いじめ0生活

<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/atagodai/Seitokai/0Ijime.htm>

僕らの6生活宣言

<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/atagodai/Seitokai/6life.htm>

いじめ0生活、僕らの6生活宣言をHPに公開後、愛宕台の伝言板に書き込みがあった。

その他、インターネットを通じて知り合った人たちのHPの掲示板にも、「いじめ0生活」を公開したことを書き込み、PRした。そのページを管理する人も、愛宕台中HPにある

「いじめ0生活」のページにアクセスし、書き込みに対して、コメントを書いていた。コメントを読んで、学校関係者のHPと、一般のHPでは、書き込みに対する、コメントの付け方が、違っていた。愛宕台中の伝言板を見ても、「hinaさん」(一般の方)と、「PIKACHUさん」(千葉県のある小学校の先生:久野小のF先生のリンク集で知り合った先生。愛宕台中の生徒に人気のあるHPを作っている千葉県の小学校の先生。生徒がPIKACHU先生の掲示板の書き込みを行い、生徒の書き込みにも、一人ひとりコメントを書いていた。)をくらべて、書き込みに違いがあることが分かる。そこで、hinaさんの書き込みに対しては、丁寧にコメントをつけた。

平成10年度の12月に実施した「生徒指導」の現職教育で、心の教室のA先生から、

「地域の人たちが学校をどのように見ているか。」ということを知ることができた。中には、学校に対して、あまり好意的でない人もいた。そんな、事例を、いくつか聞くことができた。hinaさんは、遠慮がちに書いているが、この書き込みや、学校関係者以外のHPの掲示板を通して、一般の人たちから、学校がどのように見られているか、その、一部分を知ることができた。

2学期末テストより

情報基礎の問題として、次のような問題を出題した。

6 コンピュータを使ってやってみたいことを書きなさい。
(どのようなソフトを使って、どのようなことをやりたいか、具体的に書きなさい。)

この問題の生徒の答えを、2例紹介する

A君の答え

もっと細かい絵をかいて多くの人に見てもらい、感想を聞いてみたい。

ゲームを作ってみたい。有名な人の作品を見てみたい。

B 君 の 答 え

cube musicで色々な音楽を作ってみたい。

プログラムの要素を学習したい。

もっと細かい操作のしかたや、色々なインターネットのホームページを見たい。

もしできるなら、自分たちが家で見つけてきたアドレス（URL）でやりたい。

もっと、奥が深いホームページを作成したい。

H10年は、授業中に、インターネットの指定した範囲（例1、足利市内の中学校、例2、愛宕台中のリンク集）に、自由にアクセスさせた。インターネットにアクセスする授業を行っていない時に同じような問題を出题すると、「コンピュータでゲームをやりたい。」と、答える生徒が多かった。が、今年はA君、B君のアンダーラインのように、インターネットに関する事を、コンピュータを使って行いたいと答える生徒が多かった。B君は、選択技術でタグを学習し、HTML言語で自己紹介文を作成した。その、HTMLファイルは校内のサーバの共有ホルダーに保存し、愛宕台中の生徒が自由にアクセスできるように、校内サーバにアクセス用のHTMLファイルを作っている。二重線の「奥が深いホームページを作成したい。」というのは、「選択技術で学習した内容の、発展学習（選択授業で学習した内容より、複雑なホームページの作り方）を、情報基礎の時間に学習したい。」という意味である。

このテストの解答から、生徒にとってインターネットにアクセスするということは、コンピュータゲームようにおもしろい、いや、それ以上におもしろく、魅力のあるものであることが推測される。

3 次の文章を読んで、著作権を侵害しているものは×、著作権の侵害にならないものは○を解答用紙に書きなさい。

- (1) TVで放送している「キャスパー」を録画した。
- (2) レンタルビデオの「キャスパー」をダビング録画した。
- (3) 友達から借りてきたCDをカセットテープに録音した。
- (4) FM放送をカセットテープに録音した。
- (5) スマップのコンサート会場に行き、ウォークマンで録音した。
- (6) FM放送をMDに録音した。

この問題では、(3)は、「著作権の侵害にならない」と、答えた生徒が多かった。他は、ほとんど正解だったが、この問題だけ間違った生徒が多かった。このことから、著作権に対して正しく教えることの必要性を、強く感じた。と、同時に、生徒の間で「友達から借りてきたCDをカセットテープに録音する。」ということを行うことがあり、それが、著作権の侵害になっていることを知らないという生徒の実態が分かった。

今 後 の 予 定

3年生の3学期の予定

生徒会活動紹介

いじめ0生活、僕らの6生活宣言、その経緯報告等

委員会活動の紹介

部活動紹介

学校行事紹介

文化祭

入 学 式
卒 業 式
修 学 旅 行
林 間 学 校
合 唱 コ ン ク ー ル
マ ラ ソ ン 大 会
バ ス 遠 足
学 年 行 事 紹 介
職 場 体 験 学 習
1 日 体 験 学 習
学 年 レ ク 大 会
や き い も
等

以上の中か、学校生活の中で、自分でテーマを見つけ、HTMLファイルを作る。授業で作ったファイルは、学校のHPで、公開する。

参考にしたURL

足利市立愛宕台中学校 HP <http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/atagodai/>
足利市立愛宕台中学校伝言板 <http://bbs.towax.ne.jp/a35/atagodai.cgi?>
筑波小学校 <http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/kyouiku/tsukuba/menu/menu.htm>
香川大学教育学部附属坂出中学校 <http://133.92.58.28/center/secondary/sakachu/>
東京都江戸川区立葛西第二中学校 <http://www.asahi-net.or.jp/~sk4t-skmt/index.htm>
静岡県小笠郡菊川町立菊川東中学校 <http://www1a.meshnet.or.jp/~kikuto/index.htm>
石川県立小松明峰高等学校 <http://www.nsknet.or.jp/kmhs/>
宮崎県立延岡商業高等学校 <http://www.nobeoka-chs.nobeoka.miyazaki.jp/>
久野小学校福田哲男先生 <http://www.sunfield.ne.jp/~spring>
PIKACHUさんのHP http://members.aol.com/pippikachu/pikachu_diary/pikatop.htm
aki3さんのHP <http://www.aki3.com/>
佐々木彰さんのHP <http://www2.justnet.ne.jp/~assoonas/WELCOME.HTM>

評

昨年の11月に文部省より新しい学習指導要領が提示されましたが、今後各学校において新学習指導要領に即した教育が展開されてくると情報教育の重要性は益々高くなってきます。特に新設される「総合的な学習の時間」では、自ら課題を設定し、その課題を解決していく過程や学習の成果を発表していく過程で、コンピュータをはじめとする様々な情報メディアを活用していくことが考えられます。

足利市では平成9年度にすべての中学校の21台のコンピュータを更新するとともに、インターネットに接続し、平成10年度には更に20台のコンピュータを増設しました。各中学校ではそれぞれホームページを開設し、学校教育におけるインターネットの活用について模索しているところです。

本研究はこのような中で、中学校における効果的なインターネット活用の可能性を提案するものであり、次のような実践が見られました。

- 1 美術の授業にコンピュータグラフィックスを取り入れ、コンピュータを新しい道具として位置づけた学習の展開を試みている。
- 2 美術や技術・家庭の作品を学校内のサーバーやインターネットのホームページに公開するなど、情報ネットワーク環境を生徒の学習の成果の発表に生かすことにより、生徒に成就感を味わせるとともに学習意欲の向上に役立っている。
- 3 インターネットの掲示板機能を活用することにより、生徒が自分たちの学び方について学校外の遠隔地の方々からアドバイスをもらったり、小学校の先生と交流をしたり、開かれた学校をめざした実践を行っている。

このように本研究は中学校に導入されたインターネットとネットワークコンピュータの学校教育への活用の可能性を様々な実践を通して探ったものであり、同じ設備が導入されている市内の全ての中学校にとって大いに役立つものであります。

今後、本研究をますます深めていただくことを期待するとともに、各学校におかれましては本研究を参考に、それぞれの学校の実状に合わせた活用方法を工夫しインターネット及びネットワークコンピュータを学校教育に生かされるようお願いします。